

平成28年度 地域力向上事業 事後評価

【助成事業】

(円)

No.	事業名	団体名	実施 状況	評価				市執行額 (補助金額)
				東区らしさ	達成度	支援の 必要性	費用対 効果	
1	中野町煙火大会2016	中野町煙火大会実行委員会	完了	A	A	B	B	1,850,000
2	有玉伝統文化継承事業 (流鏝馬・獅子舞)	有玉伝統文化継承事業流鏝馬実行委員会	完了	A	A	B	B	174,000
3	なかのま市	中野町を考える会	完了	A	A	B	A	150,000
4	遊休農地を利用してそば作りで地域の活性化	地域の食の自給率を上げる会	完了	A	B	B	B	67,000
5	地域の若者の未来を考える講演会	東区自治会連合会	完了	A	A	B	B	56,000
6	役立ち防災講座の開催と「津波てんでんこ」講演及び紙芝居上演会	NPO法人積志かがやきカフェ	完了	A	A	B	B	103,000
7	未来につなぐー地域と人・歴史ー東区の魅力冊子作成	みらいネット浜松	完了	A	A	B	B	550,000
8	旧鈴木家収蔵品の展示	旧鈴木家屋敷跡地活用協議会	完了	A	A	B	A	51,000
9	「おんな城主直虎」応援事業	笠井だるま市保存会	完了	A	A	B	B	84,000
							合計	3,085,000

地域力向上事業の評価基準について

評価項目		評価及び判断基準		
東区らしさ	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・事業の実施にあたり、各区固有の人材、資源などを活かしたか。より発展、強化させることに繋がったか。		
事業目的の達成度	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。		
財政支援の必要性	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・市が補助金を支出して支援を行う必要性（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）		
費用対効果	評価	A 高い	B 普通	C 低い
	判断基準	・事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。		

助成事業 No.1

＜ 平成28年度 ＞ （ 東区 区振興課 ）

事業名	中野町煙火大会2016																																						
実施団体名	中野町煙火大会実行委員会																																						
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の夏の風物詩としての煙火大会に、文化振興事業、スポーツ大会等を組み合わせた地域の一大イベントとして定着・発展させる。 ・地域の親睦を図り、明るく住みよい地域づくりを行う。 ・次世代を担う若者の発掘を進める。 ・高齢者の主体的な活動により健康力向上と地域を支える役割の創出をする。 ・東区民のふれあいの場を創出する。 																																						
事業の成果 (内容)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">内容</th> <th style="width: 15%;">実施日</th> <th style="width: 20%;">会場</th> <th style="width: 35%;">参加者数など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>少年少女サッカーフェスティバル</td> <td>7月16日、17日</td> <td>浜松球's倶楽部</td> <td>16チーム151人+観客190人</td> </tr> <tr> <td>輪投げ大会</td> <td>7月20日</td> <td>天竜協働センター</td> <td>72人+役員</td> </tr> <tr> <td>グラウンドゴルフ大会</td> <td>7月27日</td> <td>天竜川河川敷</td> <td>84人+役員</td> </tr> <tr> <td>ファミリーバドミントン</td> <td>7月31日</td> <td>中ノ町小学校</td> <td>9チーム 72人</td> </tr> <tr> <td>よさこい踊り</td> <td>8月14日</td> <td>天竜川河川敷</td> <td>若者有志 30人</td> </tr> <tr> <td>煙火大会</td> <td>8月14日</td> <td>天竜川河川敷</td> <td>観客 約4万人</td> </tr> <tr> <td>天竜川河川敷クリーンアップ活動</td> <td>8月15日</td> <td>天竜川河川敷</td> <td>270人</td> </tr> <tr> <td>演芸大会</td> <td>10月30日</td> <td>竜西荘</td> <td>221人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・少年少女サッカーフェスティバル 東区長杯争奪少年少女サッカーフェスティバルとして、東区全域から参加チームを募集し、2日間実施した。プロフットサルチーム「アグレミーナ浜松」の協力を得て、サッカー教室も実施。子どもたちに大変人気であった。今年度はフットサルになったため、1チーム5人制となった。参加チームは16チームとなり昨年から倍増した。 ・煙火大会(よさこい踊り) 夏の風物詩として、約4万人の人に見られている。さらに、よさこい踊りなども組み合わせた地域の一大イベントとして発展させている。準備、運営、片付けに参加してくれる地元の若者は年々増え、次世代を担う若者が積極的に地域に関わっている。 ・クリーンアップ活動は、中ノ町地区の住民を中心とした270人が参加し、天竜川河川敷の清掃活動を行った。 ・演芸大会は、221人の参加者(蒲24、笠井21、豊西3、和田25、長上48、中ノ町25、積志75)が、カラオケ、ダンス、体操、楽器の演奏などを楽しみ、交流した。 			内容	実施日	会場	参加者数など	少年少女サッカーフェスティバル	7月16日、17日	浜松球's倶楽部	16チーム151人+観客190人	輪投げ大会	7月20日	天竜協働センター	72人+役員	グラウンドゴルフ大会	7月27日	天竜川河川敷	84人+役員	ファミリーバドミントン	7月31日	中ノ町小学校	9チーム 72人	よさこい踊り	8月14日	天竜川河川敷	若者有志 30人	煙火大会	8月14日	天竜川河川敷	観客 約4万人	天竜川河川敷クリーンアップ活動	8月15日	天竜川河川敷	270人	演芸大会	10月30日	竜西荘	221人
内容	実施日	会場	参加者数など																																				
少年少女サッカーフェスティバル	7月16日、17日	浜松球's倶楽部	16チーム151人+観客190人																																				
輪投げ大会	7月20日	天竜協働センター	72人+役員																																				
グラウンドゴルフ大会	7月27日	天竜川河川敷	84人+役員																																				
ファミリーバドミントン	7月31日	中ノ町小学校	9チーム 72人																																				
よさこい踊り	8月14日	天竜川河川敷	若者有志 30人																																				
煙火大会	8月14日	天竜川河川敷	観客 約4万人																																				
天竜川河川敷クリーンアップ活動	8月15日	天竜川河川敷	270人																																				
演芸大会	10月30日	竜西荘	221人																																				
総事業費(円)	15,077,521	補助金額(円)	1,850,000																																				
評価	項目	ランク																																					
		A	B	C																																			
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い																																			
	2) 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い																																			
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い																																			
	4) 費用対効果	高い	(普通)	低い																																			
意見等																																							
<ul style="list-style-type: none"> ・煙火大会やスポーツイベント等は、東区の市民レベルの一大イベントとして定着している。地域コミュニティづくりに関する事業、文化・スポーツの振興に関する事業及び健康・福祉の向上に関する事業である。 ・H25から少年少女サッカーフェスティバルを東区全域を対象とした東区長杯として実施、現在、全てのスポーツ大会が東区全域を対象としており、東区全体のイベントとして定着している。 ・プロフットサルチーム「アグレミーナ浜松」にも協力いただく中で、少年少女サッカーフェスティバルを開催、交流を広めた。 ・これらのイベントは、地域の方々の力を結集して実施しており、中ノ町地区にとどまらず、東区の活性化に繋がる事業である。 ・煙火大会においては、引き続き、緊急車両の通路の確保などについて、安全への配慮を最大限行いつつ実施していく必要がある。 																																							

助成事業 No.2

＜ 平成28年度 ＞ （ 東区 区振興課 ）

事業名	有玉伝統文化継承事業(流鏑馬・獅子舞)			
実施団体名	有玉伝統文化継承事業流鏑馬実行委員会			
事業の目的	徳川家康公から有玉の高林家に馬を寄進されたことから、流鏑馬が行われるようになった。獅子舞を含め、400年の歴史を引き継ぐ伝統文化として、より多くの市民に知ってもらい、地域を担う若者に継承していきたい。今後も区民の交流や魅力ある区づくり、まちづくりに寄与するために活動する。			
事業の成果 (内容)	<p>【内容】 流鏑馬、獅子舞の伝統行事の実施。今年度は、積志地区の児童が流鏑馬行事のナレーションを担当した。また、流鏑馬の馬を使用した乗馬体験を行った。併せて、有玉小と積志小の児童に、流鏑馬等、伝統文化に関する絵をかいてもらい、境内に展示する。</p> <p>【成果】 実施日：平成28年10月9日(日) 会 場：有玉南町 有玉神社 来場者：約3,000人</p> <p>＜流鏑馬＞一の馬、二の馬、三の馬と3頭の馬を用いる元来の実施形態で、一番の矢から三番の矢を的に向かって交互に射ち、勝敗を競った。かみしもを着用してナレーションを担当した児童6人は、2ヶ月間、ナレーションの練習や歴史の勉強を行った。 ＜子ども相撲＞元々は、流鏑馬の勝負がつかない場合に大人が相撲で勝敗を決めていたが、近年ではその名残として、児童が相撲を行い勝敗を競っている。 ＜獅子舞＞獅子舞の笛や太鼓は有玉小学校の児童12人も練習し、小学生による獅子舞も披露した。 ＜絵画展＞有玉小学校・積志小学校の児童に流鏑馬等、伝統文化に関する絵を描いてもらい、全てを会場に掲示した(183枚)。 ＜乗馬体験＞子どもを中心とした126人が流鏑馬の馬を使用した乗馬体験をした。</p>			
総事業費(円)	459,248	補助金額(円)	174,000	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	高い	(普通)	低い
意見等				
<p>・徳川家康公に由来する流鏑馬と獅子舞を組み合わせた有玉地域の伝統文化を、次世代に伝えるべく実施しており、文化振興事業、地域コミュニティづくり事業である。今年度は、積志地区の児童による流鏑馬行事のナレーション、流鏑馬の馬への乗馬体験を通じ、児童により深く伝統文化を伝え、継承する内容が加わっている。</p> <p>・伝統文化に関する児童の絵画展などを実施し、複数の手段で、地域文化に触れ、再認識するきっかけづくりとなっている。</p> <p>・地域と学校(児童)が連携することで、地域の伝統文化を継承することができる事業である。今後、中学生や高校生など若者と連携し、地域の伝統文化に触れる機会を増やし、地域の交流がさらに進むことを期待する。</p>				

助成事業 No.3

＜ 平成28年度 ＞ （ 東区 区振興課 ）

事業名	なかのま市			
実施団体名	中野町を考える会			
事業の目的	地域住民の交流と地域活性化を図り、福祉向上に寄与し、更に、東海道を歩く来訪者へ街道観光としての地域PRを行う。イベント開催を通じて、地域住民に対し地域活性化のイメージを、主催団体や街道観光客と共有を図る。			
事業の成果 (内容)	<p>【なかのま市の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：平成28年6月4日(土) ・会場：まっし蔵(中野町にある伊豆石の蔵) ・来場者：約2,000人 <p><内容および成果について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場では地元出店者の手作り品、農産物や地産品、地元の復刻名物「はりつけ餅」の販売を行った。来場者には好評であり、地域の魅力発信に役立つ形となった。 ・イベントステージでは子供向けの紙芝居や静岡文化芸術大学生の演劇を上演した。 ・蔵の内部では、地域の歴史文化を紹介するため、昔の町の様子を撮影した写真展を開催した。多くの来訪者に好評を博し、まちの歴史や文化を対外的にPRする良い機会となった。 ・イベントを通じ、住民同士のコミュニケーションが深まり、また、手作り品を介しての新しい出会いもあり、子供から大人まで楽しめる場となった。また、入場者、出店者、主催者ともに楽しみ、満足できるイベントとなっていた。 ・今回、イベントの開催をJRのさわやかウォーキングと同日にしたため、より多くの方に地域の魅力を発信することが出来た。 <p>・当初は複数の会場を設け、まちなかを回遊できるよう計画したが、出店者数とスタッフの人的制約から1箇所開催となり、やや広がり欠いた。しかし、より多くの来場者が見込まれる場所に全ての店舗やステージが集約されたことで、結果、効果的なPRができた。多くの参加者等から好評を受け、定期的な開催を望む声が多く寄せられる結果となった。</p> <p>・まち歩きマップについて「なかのま市」以外でも配布を続け、8月末までに5,000部を配布した。</p>			
総事業費(円)	324,572	補助金額(円)	150,000	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	(高い)	普通	低い
意見等				
<p>・中野町に、町民や来訪者が散策中に立ち寄る場所を作り、同時に地域の歴史文化を紹介する事業内容であり、地域コミュニティづくりに関する事業、文化振興事業及び地域の特性を活かしたまちづくり事業である。</p> <p>・地元出店者の手作り品や地産品、地元の復刻名物「はりつけ餅」の販売を行い、大勢の人に地域の魅力発信が行われた。</p> <p>・蔵の内部では、昔の町の様子を撮影した写真展を開催し、地域の歴史文化もPRできている。</p> <p>・多くの地元住民がイベントの開催を手伝っており、イベントを通じて住民同士のコミュニケーションが深まった。また、子供から大人まで楽しめる場となり、来場者には非常に好評で、「また開催して欲しい」という声も多く聞かれた。</p>				

助成事業 No.4

＜ 平成28年度 ＞ （ 東区 区振興課 ）

事業名	遊休農地を利用してそば作りで地域の活性化			
実施団体名	地域の食の自給率を上げる会			
事業の目的	色々な事情で農地を管理できないことは、地域にとって決して好ましいことではない。これらの農地を借りて、地域の有志の協力でそばを栽培し、地域の交流を行う。また、北遠地区の方々と交えてそば打ちを行い、各種団体との交流を図ること。			
事業の成果 (内容)	<p>【そばの栽培】 6月～8月 遊休農地を耕作 9月 種まき 11月 収穫 (毎回会員数人が参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にある遊休農地のうち、約1,500㎡を利活用することができた。 ・収穫量は約20kgであった。 <p>【そば打ち体験会の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そば打ちの講師を北遠の団体(佐久間やまびこ)に依頼して、北遠との交流も図った。 ・平成29年2月15日に天竜協働センターで地域の方などを対象としたそば打ち体験会を実施し、50人が参加した。 ・平成29年2月20日に中ノ町小学校4年生(70人)を対象にそば打ち体験会を実施した。 ・中ノ町小学校、天竜協働センターで事業についての写真を展示した。 			
総事業費(円)	167,759	補助金額(円)	67,000	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	(普通)	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	高い	(普通)	低い
意見等				
<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は、そば作りを通して地域交流を目的としており、「地域コミュニティづくりに関する事業」である。 ・遊休農地を利用し、そばを栽培、収穫した後、小学生や地域住民などとそば打ち体験を通じて地域内、世代間での交流を行っている。 ・そば打ちの講師として北遠の団体と連携して事業に取り組んでおり、目的にある他地域との交流も図られている。 ・遊休農地の活用及び地域交流の機会とする事業目的を達成していると評価できる。 				

助成事業 No.5

＜ 平成28年度 ＞ （ 東区 区振興課 ）

事業名	地域の若者の未来を考える講演会			
実施団体名	東区自治会連合会			
事業の目的	幅広い年代を対象とした講演会を開催し、次世代を担う若者が健やかに成長するために、地域が、家庭が、できることは何かを、皆で考えるきっかけづくりをする。その結果、子どもたちの成長を地域社会で見守るという意識が生まれ、地域の連携が強まる。			
事業の成果 (内容)	<p>第1回講演会開催 日 時 平成28年6月12日(日) 14:00～15:30 会 場 浜松市総合産業展示館 北館4階 1号ホール 講 師 キャリア・アドバイザー 鈴木 まり子 氏 聴講者 学校保護者、学校関係者、自治会関係者等 209人 テーマ 親が子どもの進路を豊かにする5つのコツ <参加者の声> ・すごく分かりやすい講演内容でした。参加者同士で意見を話し合う形式は、主体的に考えることが出来て良かったです。 ・時代によって変わる価値観と、普遍的な子どもへの対応の仕方を教えていただき、大変参考になりました。</p> <p>第2回講演会開催 日 時 平成29年1月29日(日) 14:00～15:30 会 場 浜松市総合産業展示館 北館4階 1号ホール 講 師 大日本報徳社講師 石野 茂子 氏 聴講者 学校保護者、学校関係者、自治会関係者等 186人 テーマ 二宮金次郎に学ぶ今を生きる知恵 <参加者の声> ・参加者が皆で、歌をうたったりと趣向を凝らした講演会で楽しい時間を過ごすことができた。 ・テーマにある二宮金次郎に興味があり参加した。</p>			
総事業費(円)	142,360	補助金額(円)	56,000	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	高い	(普通)	低い
意見等				
<p>・この事業は、次世代を担う若者が健やかに成長するために、地域や家庭の役割を考える機会を提供する事業であり、「地域コミュニティづくりに関する事業」である。 ・第1回は「親が子どもの進路を豊かにする5つのコツ」をテーマとし、子どもたちを取り巻く親をはじめとした大人が子育ての中で心がけてほしいことについての講演であった。 ・第2回は「二宮金次郎に学ぶ今を生きる知恵」をテーマとし、二宮尊徳の少年時代や報徳社と東区の関係について解説し、報徳精神による子育てにおける夫婦関係や親子関係、食育、健康への取り組みの講演であった。 ・講演会から、地域や家庭などで子どもたちの成長を地域社会で見守るためはどうしたら良いかを考える機会を提供しており、事業の目的を達成したと評価できる。</p>				

助成事業 No.6

＜ 平成28年度 ＞ （ 東区 区振興課 ）

事業名	役立ち防災講座の開催と「津波てんでんこ」講演及び紙芝居上演会			
実施団体名	NPO法人積志かがやきカフェ			
事業の目的	浜松市の支援先である大船渡市への支援活動を継続して実施していくとともに、防災カフェや防災講演会を展開することによって、住民の防災意識の高揚、防災機能のレベルアップを図り、地域に根ざした防災対応、安全安心な町づくりの推進を行うこと。 また、災害発生時、救援活動の担い手として期待される小学校高学年・中・高校生にも積極的に参加を促し、地域の救援活動に貢献することの大切さを学んでもらい、非常時の即戦力になれるよう育成していくこと。			
事業の成果 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・「津波てんでんこ」講演及び紙芝居上演会 日 時:平成28年7月17日(日)10:00～12:00(会場:積志協働センター) テーマ:第1部「熊本地震から学ぶ危機管理」、第2部「紙芝居で綴る ～津波てんでんこの教え～」 講 師:第1部:浜松市職員(東区健康づくり課)、第2部:大船渡津波伝承館理事 横道 毅 氏 聴講者:92人 ・災害用グッズづくり講座の開催 身近にある物を使って、災害用グッズを作る手作り講座を開催する。 実施日:平成28年9月27日(火)(会場:有玉北町 珈楽庵) テーマ:「簡単五徳の作り方・使い方、家庭防災用品の必要な物」 参加者:15人 ・防災バーベキューの開催 バーベキューを通して、災害生活に必要な火起こし、炊き出し、協力精神等を学ぶ講座の開催 日 時:平成28年11月10日(木)15:00～(会場:積志地区・小島公会堂前広場) 内 容:①ツナ缶ランプづくりと実践(いざという時に役立つグッズ作り)、②火おこし体験 ③災害時ごはんづくり、④防災バーベキュー体験 参加者:15人 ・防災カフェ&災害用グッズづくり講座の開催 実施日:平成28年8月23日(火)、平成28年12月6日(火)(会場:有玉北町 珈楽庵) テーマ:「HUG(避難所運営ゲーム)を体験する」 内 容:HUG体験、身近にあるものを用いた災害用グッズ手作り講座の開催 参加者:29人 			
総事業費(円)	258,644	補助金額(円)	103,000	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	高い	(普通)	低い
意見等				
・この事業は、住民の防災意識の高揚、安全安心な町づくりの推進を目的としており、「地域コミュニティづくり事業」、「安全安心な地域づくりに関する事業」である。 ・「防災カフェ」を開催し、防災知識の向上と知識の共有を図っている。ただし、参加者が限られているため、より広く周知を図る必要性がある。 ・被災地支援と防災意識の向上のため、地域住民を対象とした「紙芝居」や実体験の講演会を開催し、災害時の体験を普及させた。 ・身近なものを用いた災害用グッズづくりや防災バーベキュー講座などで被災時に役立つ知識や実践力を学ぶ機会を提供している。 ・大船渡市を訪問し、ボランティア活動を行い、被災地の現状把握を行なった。 ・事業実施により、地域住民の防災意識の高揚、防災機能のレベルアップを図り、地域に根ざした防災対応、安全安心な町づくりの推進が図られていることが評価できる。				

助成事業 No.7

＜ 平成28年度 ＞ （ 東区 区振興課 ）

事業名	未来につなぐ ―地域と人・歴史― 東区の魅力冊子作成			
実施団体名	みらいネット浜松			
事業の目的	東区6地区の後世に伝えたい歴史や伝統ある遺産、様変わりするまちの現状を冊子にし、地域の宝をみんなで大切にしようという意識を高める。また、小・中学生の校外学習ガイドブックとして使用し「伝統を守る心」を醸成する。			
事業の成果 (内容)	<p>地域紹介冊子の作成(カラー印刷、98頁、A5判)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ちやすいサイズで1地区20か所と項目を多くし、誰もが訪れやすいよう地図掲載した冊子。(1,000部) ・調査研究は、地域の人からの聞き取りや、既存の資料を検証しながら、より関心の深まる事柄を正確に編集し、寺社仏閣など遺物だけでなく、伝承民話、古木、古民家など地域に関わる文化遺産、更に未来につなぐ新しい施設など、まちを暮らしという広い視野でとらえていく。 ・学校・協働センター・市施設・自治会・協力関係者などに300部程度無料配布し、残り700部は500円で販売している。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にある宝を見直す切っ掛けとなり、地域愛や伝統を守る心が生まれる。 ・地域の遺産を知ることにより、東区の発展につながる意識を醸成できる。 ・他区の市民や市外からの観光客に、東区を知っていただく機会となる。 ・小中学生などの校外学習用冊子に利用することにより、次世代に地域を伝えることができる。 			
総事業費(円)	1,104,096	補助金額(円)	550,000	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	高い	(普通)	低い
意見等				
<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は、東区6地区の歴史や伝統ある遺産、まちの現状を冊子にまとめ、地域の伝統や文化を伝えていくことを目的としており、「文化・スポーツ・生涯学習の振興に関する事業」である。 ・東区6地区の後世に伝えたい歴史や伝統ある遺産、様変わりするまちの現状を冊子にまとめ、地域の遺産を知ることにより、東区の発展につながる意識を醸成につなげている。 ・市民に東区を紹介する機会となっている。 ・東区内の小中学生などに、地域を伝える機会を提供している。 ・事業の目的を達成できていると評価できる。 				

助成事業 No.8

＜ 平成28年度 ＞ （ 東区 区振興課 ）

事業名	旧鈴木家収蔵品の展示			
実施団体名	旧鈴木家屋敷跡地活用協議会			
事業の目的	中郡町に室町幕府の時代から続く、浜松地方を代表する庄屋・旧鈴木家屋敷跡地がある。旧鈴木家のたたずまい、その収蔵品を展示することにより、広く市民に観ていただき、古の人々の暮らしを思い、歴史の中の現代を感じ、故郷への思いを深くする。			
事業の成果 (内容)	<p>【旧鈴木家屋敷収蔵品の展示】 期間：平成29年1月10日(火)～1月31日(火)(土・日・祝は除く) 9:00～17:00 会場：東区役所1階市民ホール 来場者：1,067人</p> <p>＜旧鈴木家について＞ 浜松市東区中郡町に、室町幕府の時代から続く、浜松藩主に単独で拝謁がゆるされた「独礼庄屋」の筆頭である旧鈴木家屋敷跡地が存在する。屋敷跡には、屋敷門や母屋、納屋、弓道場などの建物が残存しており、地域の有力者であった鈴木家の風格を今に伝えている。平成22年には、屋敷跡地が「地域の憩いの場・集いの場」として活用されることを目的に、所有者から市へと寄附された。2013年、2014年に発掘調査が行われた際、飛鳥時代から鎌倉時代にかけての遺構や遺物が見つかり、万斛西遺跡として県文化財に登録された。現在は、市によって憩いの場としての設計が進められている。</p> <p>＜展示内容＞ ・鈴木家歴史コーナー(歴史年表、1,500点の収蔵品のうち一部を展示) ・発掘調査コーナー(屋敷跡地から出土した遺物) ・古文書コーナー(家康の側室である阿茶局の記述文) ・現代・未来コーナー(旧鈴木家の現在の様子と未来構想について)</p> <p>＜来場者の声＞ ・大庄屋さんだったなど古い物を見せていただきロマンを感じた。 ・浜松市の歴史拠点になるような公園になると良い。</p>			
総事業費(円)	103,219	補助金額(円)	51,000	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	(高い)	普通	低い
意見等				
<p>・この事業は中郡町にある旧鈴木家収蔵品などを広く紹介し、展示を行うことにより、旧鈴木家跡地の保存と活用への取り組みを知ってもらい、地域交流を図るものであり、「地域コミュニティづくりに関する事業」、「地域の特性を活かしたまちづくり事業」である。 ・来場者に対して、案内人による細やかな説明を行い、展示についての理解を深めていた。 ・旧鈴木家屋敷の歴史と現在、未来を広く市民に紹介することにより、屋敷跡の活用について話題を提供しており、事業の目的を達成できたと評価できる。</p>				

助成事業 No.9

＜ 平成28年度 ＞ （ 東区 区振興課 ）

事業名	「おんな城主直虎」応援事業			
実施団体名	笠井だるま市保存会			
事業の目的	松島十湖は井伊家と縁がある。直虎に関する俳句や写真の展示等を実施し「おんな城主直虎」を盛り上げるとともに、北区との連携を図っていく。また、東高校の学生も運営に参加するため、若者との交流が見込まれ、世代間交流が図られる。			
事業の成果 (内容)	<p>【おんな城主直虎応援事業】 実施日：平成29年1月10日（火） 会場：笠井町福来寺だるま会館、境内、旧笠井郵便局 来場者：3,300人</p> <p>井伊直虎にちなんだ俳句や写真等の展示 ・直虎にちなんだ俳句100選（東区・北区の俳句会が参加） ・東高校学生による直虎に関する写真や俳句、書道部による直政の生涯についての展示 ・牧野良香氏の書「直虎」 ・熊谷光夫氏の直虎版画展</p>			
総事業費(円)	168,912	補助金額(円)	84,000	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 東区らしさ	(高い)	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	(普通)	低い
	4) 費用対効果	高い	(普通)	低い
意見等				
<p>・この事業は、展示を通じて「おんな城主直虎」を盛り上げ、運営に参加する高校生や、俳句を通じての他区との交流を図ることを目的としており、「地域コミュニティづくりに関する事業」、「文化・スポーツ・生涯学習の振興に関する事業」、「地域の特性を活かしたまちづくり事業」である。</p> <p>・井伊直虎にちなみ、俳句会を行い、高校生や北区の団体との交流を図っていた。</p> <p>・旧笠井郵便局での熊谷光夫氏の版画展やだるま会館での写真、書道、絵画など様々な分野での展示において、直虎とのゆかりを紹介していた。</p> <p>・北区との連携、高校生との世代間交流の中、「おんな城主直虎」を応援する目的が達成されていたと評価できる。</p>				